

平成26年度第1回さぬき市文化財保護審議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年8月24日（日） 10:00～11:48
- 2 場 所 さぬき市津田支所1階（新会議室）
- 3 出席者 [委 員] 伊澤肇一 大久保徹也 熊田正美 佐々木正博 千葉幸伸
藤村泉 古瀬清秀 細川伸晃 溝渕茂樹 六車功
[事務局] 安藤教育長 中野生涯学習課長 山本副主幹 中村係長
[傍 聴] 0名
- 4 議 題 1. 会議の公開について
2. 会長・副会長の選出について
3. 平成25年度事業報告について
4. 平成26年度事業計画について
5. その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今から平成26年度第1回さぬき市文化財保護審議会を開会します。本日は皆様、ご多忙のところ、また日曜日にも関わりませず本会にご出席いただき厚くお礼申し上げます。</p>
(事務局)	<p>本日の出席委員につきましては、全員の方のご出席をいただいております。従いまして、さぬき市文化財保護審議会規則第5条第2項の規定により、本会議は成立いたしましたことをご報告いたします。</p>
(事務局)	<p>本日の会議は、審議会委員の皆様の最初の会議でありますことから、会長が決定されておられません。従いまして会長の挨拶は、決定してからお願いすることといたします。</p>
(教育長)	<p>最初に、教育長より挨拶をお願いいたします。 (教育長あいさつ) ありがとうございました。</p>
(委 員)	<p>ここで、新しく委員にご就任いただきました千葉先生から、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。よろしく願います。 (自己紹介)</p>
(事務局)	<p>ありがとうございました。</p>
(事務局)	<p>それでは議事に入りたいと思います。</p>
(事務局)	<p>本来なら、さぬき市文化財保護審議会規則第5条第1項の規程により、会長が会議を主宰することと定められておりますが、先ほど申し上げたとおり会長がまだ決定されておられませんので、どのようにいたしましょうか。 よろしければ私が仮の議長を努めさせていただきたいと思いますがいか</p>

	がでしょうか。
(委 員)	(賛同)
(事務局)	それでは不慣れではございますが、私が仮の議長を努めさせていただきます。
(事務局)	それでは議題1に入らせていただきます。 議題1「さぬき市文化財保護審議会会議の公開について」、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局より会議の公開等の取扱いについて説明)
(事務局)	事務局から説明がありましたが、議題2のみ非公開で他の議題は公開とすることで異議ございませんか。
(委 員)	(意義なし)
(事務局)	それでは、議題2のみ非公開とし、その他の議題は公開することで進めます。 (議案第2号 非公開)
(会 長)	議題3「平成25年度さぬき市文化財保護事業報告について」、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明 議案第3号)
(会 長)	ただいまの説明について、質問等ございませんか。 先日の台風によって文化財の被害というのは、報告があったのですか。
(事務局)	被害というのは今のところ確認しておりません。
(会 長)	細川家住宅は8月1日現在の写真が載っておりますが、これはいつぐらい終了しますか。
(事務局)	これにつきましては、26年度に説明させていただこうと思っておりますが、今のところお手元の資料14ページの状況で、8月1日に屋根の吹替え工事はほぼ完了しております。今後整形等を行いまして、建物の中の補修であったり、耐震構造の診断というのが文化庁の方針で行うということで、10月末で完了する予定で進めております。
(会 長)	他にございませんか。 なければ、議案第4号「平成26年度さぬき市文化財保護事業計画」について事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明 議案第4号)
(会 長)	ただいまの説明について、質問等ございませんか。
(委 員)	先日の四国新聞にさぬき市が第二庁舎の整備ということで、寒川が第1候補、長尾が第2候補となっておりますが、それと博物館構想がリンクしているのですか。
(事務局)	それ自身はリンクしていません。今後、提言されることで、実質計画で

	<p>は2017年までに第二庁舎、今の本庁舎が津波のハザードマップ上浸かる地区なので行政機能が麻痺するというので、防災機能を重点するのと市内にある庁舎を本庁舎にまとめるということで、行政機能が重視されていると思います。</p> <p>博物館構想については、小学校の閉校の跡地等を利用して皆様に見てもらえるような施設ということで、生涯学習課として一日でも早く整備したいということでご意見をいただければと思っています。</p>
(委員)	<p>そうすると、審議会として提言というか、今はA4一枚の方針が出ていますが、肉づけしていったら、審議会として提言する作業があるのですか。</p>
(会長)	<p>今回が最初に出てきたもので、構想というか、たたき台というものを審議会でご意見をいただいて事務局の方で集約して参考にしたいという感じなのですか。</p>
(事務局)	<p>例えば、廃校の校舎を市としたら売ってお金を得たいのもありますが、せっかくある建物で少しお金をつぎ込んでそういうふうを活用したらいいという考え方もあります。統合によって使用しない校舎がたくさんできたということも一つの要因であります。支所はおいておく、公民館もあるので、公民館でどういうことをしていくかということにも文化財がくつつくのではないかと思います。</p>
(委員)	<p>それと市の歴史文化構想でこういうものを将来的にというのがあるのですか。</p>
(事務局)	<p>それは今からということです。</p>
(委員)	<p>先程のご説明を伺って思ったのですが、もし仮に具体化する一つのきっかけとして津田古墳群の指定ということを使っていくとすれば、保存管理計画を立てて、整備計画を立ててという中で、具体化させていくというのも一つの方法かなと思います。</p>
(委員)	<p>さぬき市まるごと博物館というのは、地域博物館構想なのです。いろんなテーマですればいいのですが、石造物をテーマにしてさぬき全体をとらえる博物館構想もあり、また、88か所と石造物というとらえ方もあるのではないかと思います。テーマは他にも、門めぐりの町 さぬき市というものもあります。</p> <p>さぬき市まるごと博物館は、訪ねてきた人が自分の興味のあるコースを選んでいくというさぬき市が一つの地域博物館というのも案かなと思います。</p>
(委員)	<p>地域博物館構想はまさに今やろうとしている。博物館の歴史と考えると、明治に始まり日本が近代化するためにヨーロッパへ見に行き、博覧会をし、博物館を造り、日本のための古美術をおいておく。自然科学系は教育のた</p>

	<p>めに自然史博物館ができています。戦後、アートになってきて現代美術館を造り、郷土史館を造ってきてきた。その結果として、博物館の中には物があるけれどもみんなが見られない。教育長さんとは、見解が違いますが、集めていたからそういう論議ができるということもあると言われる。さぬき市目的の中に収集がいる。博物館というのは資料の調査研究をして、収集保存をして生涯教育に活用にして、最終的には古墳の活用まで行く。今、活用が始まっている。遺跡の側で博物館を造る。それは財政規模の大きなところ是可以する。</p> <p>徳島県の三好市では、財政規模は小さいけれど文化財課がある。街づくり関係の補助事業で人口減少が問題なので、地域再生を結びつけた戦略を出された位置づけをしている。</p>
(委員)	<p>特色ある素材を確認して構想をもっていく。紙ベース、布ベースでは保存状態がどうなっているのか、特に大事なものはどれかというのを見据えたら構想もできるのではないかと思います。</p>
(事務局)	<p>いろんなことを教えてもらうことから始まるのかなと思っております。</p>
(会長)	<p>他にありませんか。</p>
(委員)	<p>文化庁としての意見はどうなっていますか。</p>
(委員)	<p>現地はまだですが、遺跡の石棺関係を見てもらっています。どうやって保存管理するのがよいかということが全国的にも指針がないので、香川県の方で石造物の管理についての検討会を立ち上げて指針として、取扱を決めていけばいいと思います。</p>
(委員)	<p>漆工芸がさぬき市で盛んになってきている。</p>
(事務局)	<p>図に関しましては、これからご意見をいただければと思います。</p>
(会長)	<p>その他につきましてはどうですか。</p>
(事務局)	<p>事務局からは特にありません。</p>
(会長)	<p>以上で、平成26年度第1回さぬき市文化財保護審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>